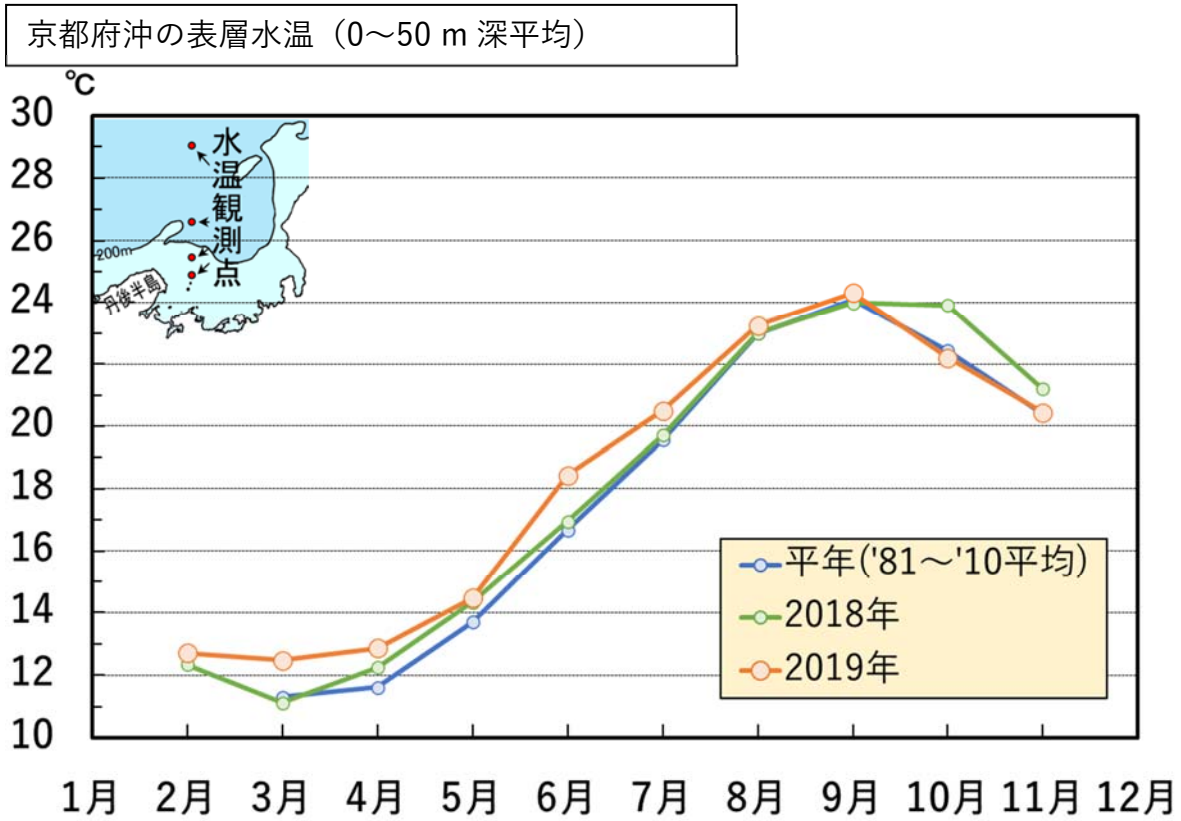


# 京都府漁海況情報

京都府農林水産技術センター海洋センター 研究部  
<http://www.pref.kyoto.jp/kaiyo/>  
 電話：0772-25-3078 FAX：0772-25-1532

## 海の状況 ～2019年1月から12月まで～

表層の水温は、2月から7月ごろまでやや高め～はなはだ高めで推移しましたが、8月以降は平年並みで推移しました。



| 単位：℃ | 水温   | 平年差          | 評定     |
|------|------|--------------|--------|
| 1月   | 観測なし |              |        |
| 2月   | 12.7 | データ過少につき評定なし |        |
| 3月   | 12.5 | +1.2         | かなり高め  |
| 4月   | 12.9 | +1.3         | かなり高め  |
| 5月   | 14.5 | +0.8         | やや高め   |
| 6月   | 18.4 | +1.7         | はなはだ高め |
| 7月   | 20.5 | +0.9         | かなり高め  |
| 8月   | 23.2 | +0.2         | 平年並み   |
| 9月   | 24.3 | +0.2         | 平年並み   |
| 10月  | 22.2 | -0.2         | 平年並み   |
| 11月  | 20.4 | ±0           | 平年並み   |
| 12月  | 観測なし |              |        |

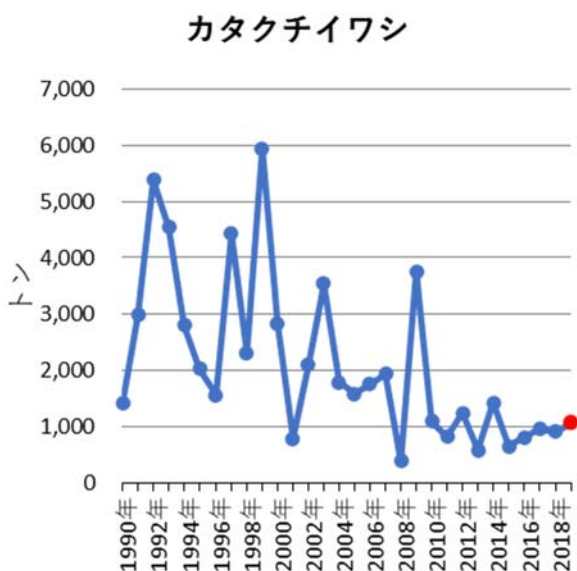
# ≪漁模様 2019年1月から12月まで≫

## 【定置網漁業】

ブリが平年の1.3倍（前年の2.6倍）、ヒラマサが平年の7.1倍（前年の3.4倍）、シイラが平年の1.4倍（前年の1.5倍）と好調でした。一方、マアジは平年の6割弱（前年の1.4倍）、カタクチイワシが平年の7割弱（前年の7割強）と低調でした。全体では、平年の8割強（前年の8割弱）と低調でした。

| 年間漁獲量（上位10魚種）（トン） 京都府漁協集計   |        |               |         |        |  |
|-----------------------------|--------|---------------|---------|--------|--|
| 魚種                          | 2019年  | 2018年(前年比)    | 平年(平年比) |        | 備考   |
| カタクチイワシ <small>(たれ)</small> | 1661.2 | 2261.7 (73%)  | 2441.9  | (68%)  | ＜サワラ銘柄別＞<br>さわら大：138トン<br>さわら：635トン<br>さごし：688トン<br>やなぎ：134トン  |
| サワラ                         | 1594.4 | 1219.3 (131%) | 1540.8  | (103%) |  |
| ブリ                          | 1521.2 | 592.1 (257%)  | 1171.0  | (130%) |  |
| マアジ                         | 579.3  | 402.7 (144%)  | 1012.2  | (57%)  | ＜ブリ銘柄別＞<br>ぶり：354トン<br>まるご：112トン<br>はまち：114トン<br>つばす：942トン   |
| ヒラマサ                        | 342.1  | 99.6 (343%)   | 47.9    | (713%) |  |
| シイラ                         | 292.9  | 200.2 (146%)  | 203.6   | (144%) |  |
| イカ類                         | 236.7  | 294.4 (80%)   | 358.1   | (66%)  | ＜イカ類＞<br>ケンサキイカ <small>(白いか)</small> ：89トン<br>アオリイカ <small>(秋いか)</small> ：66トン<br>ヤリイカ <small>(冬いか)</small> ：38トン<br>ソデイカ <small>(たるいか)</small> ：30トン<br>スルメイカ：8トン |
| サバ類                         | 211.2  | 123.2 (171%)  | 203.0   | (104%) |  |
| スズキ                         | 187.0  | 109.3 (171%)  | 138.3   | (135%) |  |
| カツオ類                        | 154.2  | 61.4 (251%)   | 141.4   | (109%) |  |
| その他                         | 641.0  | 4482.1 (14%)  | 1952.7  | (33%)  |  |
| 合計                          | 7421.3 | 9846.1 (75%)  | 9211.0  | (81%)  |  |

### ＜主要魚種の漁獲量経年変化＞

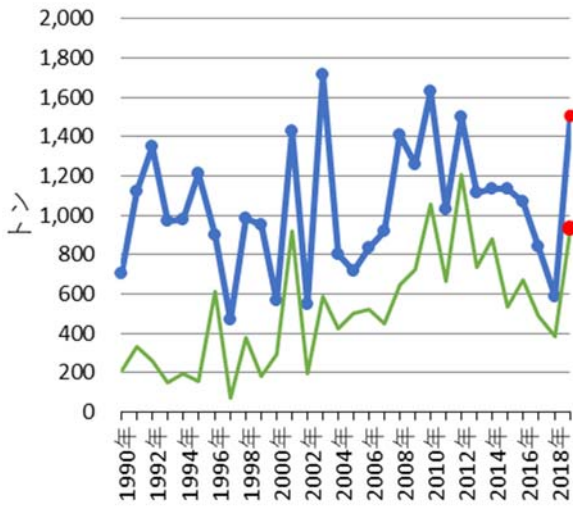


漁獲量は減少傾向にありますますが、現在は低調と言えます。ただ、ここ数年は少しずつ増えているように見えます。



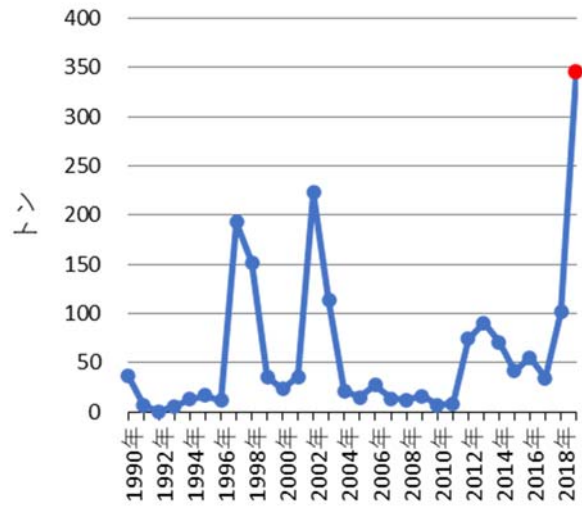
漁獲量は2000年代から急増し、現在も好調を維持しています。

ブリ（緑線はつばす銘柄）



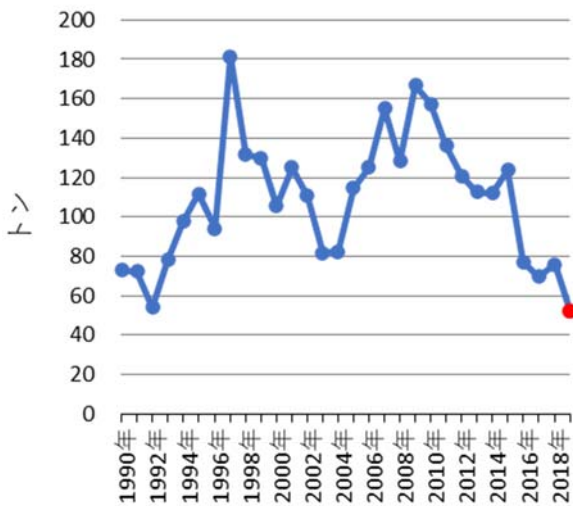
漁獲量はここ数年減少傾向でしたが、2019年は好調でした。つばす銘柄も減少傾向で、今後の資源が心配されていましたが、2019年は比較的好調でした。

ヒラマサ

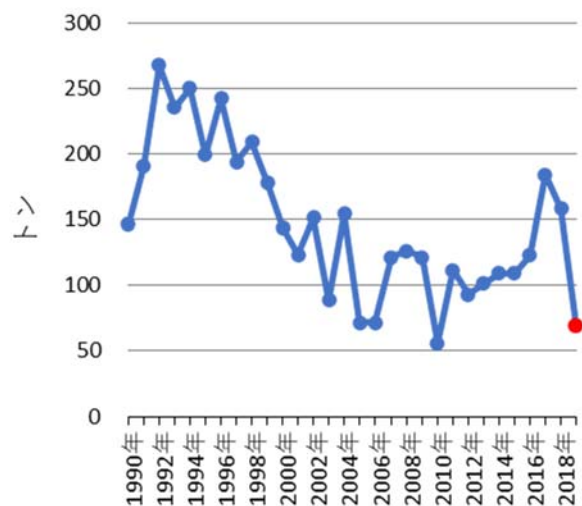


漁獲量は 2012 年ごろから増加が見られ、2019 年は 1990 年以來最大となりました。過去にも 1997-1998 年と 2002-2003 年にピークが見られます。

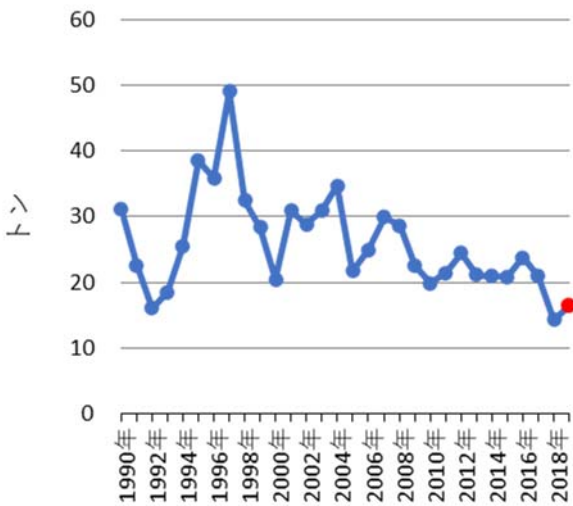
アカガレイ（底曳網）



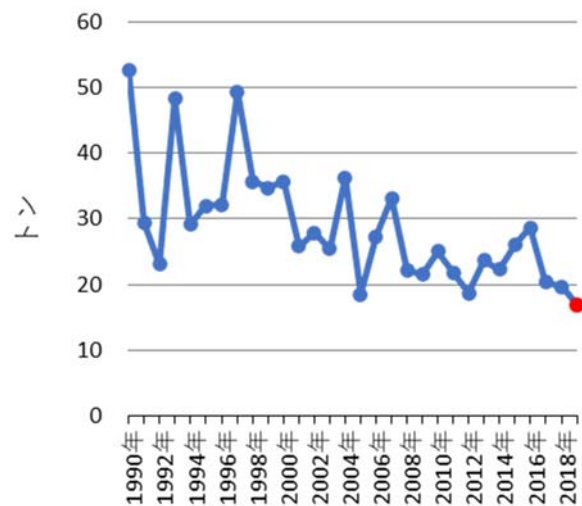
ニギス（底曳網）



アカアマダイ（釣り・延縄）



マダイ（釣り・延縄）



## 【底曳網漁業】

全体の水揚量は、平年の5割強（前年の7割弱）でした。

| 年間漁獲量（上位10魚種）（トン） 京都府漁協集計 |       |             |         |        |  |
|---------------------------|-------|-------------|---------|--------|--|
| 魚種                        | 2019年 | 2018年(前年比)  | 平年(平年比) |        | 備考   |
| カレイ類                      | 78.2  | 115.5 (68%) | 180.3   | (43%)  | <カレイ類><br>アカガレイ(まがれい): 52トン<br>ソウハチ(えてがれい): 12トン<br>ヒレグロ(くろがれい): 8トン<br>など |
| ニギス(沖きす)                  | 68.9  | 158.2 (44%) | 116.9   | (59%)  |  |
| ズワイガニ                     | 62.3  | 62.9 (99%)  | 74.7    | (84%)  |  |
| タイ類                       | 20.9  | 24.4 (86%)  | 16.1    | (130%) | <タイ類><br>キダイ(連子鯛): 12トン<br>チダイ: 5トン<br>マダイ: 4トン<br>など                      |
| ハタハタ                      | 7.9   | 15.0 (52%)  | 63.0    | (12%)  |  |
| エビ類                       | 6.8   | 7.0 (97%)   | 7.7     | (88%)  |  |
| タラ類                       | 6.2   | 5.6 (111%)  | 5.2     | (120%) | <ズワイガニ><br>オス: 40トン<br>メス: 23トン  |
| アンコウ類                     | 5.7   | 6.3 (91%)   | 18.3    | (31%)  |  |
| イカ類                       | 3.8   | 7.8 (48%)   | 8.2     | (47%)  |  |
| タコ類                       | 3.7   | 4.2 (87%)   | 8.5     | (43%)  |  |
| その他                       | 32.4  | 43.9 (74%)  | 46.8    | (69%)  |  |
| 合計                        | 296.9 | 451.0 (66%) | 545.6   | (54%)  |  |

## 【釣り・はえなわ漁業】

全体の水揚量は、平年の7割（前年並み）でした。

| 年間漁獲量（上位10魚種）（トン） 京都府漁協集計 |       |              |         |        |  |
|---------------------------|-------|--------------|---------|--------|--|
| 魚種                        | 2019年 | 2018年(前年比)   | 平年(平年比) |        | 備考   |
| ブリ                        | 57.1  | 23.4 (244%)  | 62.2    | (92%)  | <ブリ銘柄別><br>ぶり: 3トン<br>まるご: 7トン<br>はまち: 25トン<br>つばす: 21トン         |
| タイ類                       | 30.7  | 31.0 (99%)   | 35.1    | (88%)  |  |
| イカ類                       | 26.6  | 60.3 (44%)   | 74.0    | (36%)  |  |
| サワラ                       | 16.9  | 15.4 (110%)  | 20.2    | (84%)  | <タイ類><br>マダイ: 17トン<br>キダイ(連子鯛): 13トン<br>など                       |
| アカアマダイ(ぐじ)                | 16.3  | 14.3 (114%)  | 21.0    | (78%)  |  |
| メバル類                      | 12.2  | 11.8 (104%)  | 14.4    | (85%)  |  |
| ウマヅラハギ(長はぎ)               | 4.8   | 5.9 (82%)    | 7.5     | (64%)  | <イカ類><br>ソデイカ(たるいか): 9トン<br>スルメイカ: 9トン<br>ケンサキイカ(白いか): 5トン<br>など |
| ヒラマサ                      | 2.1   | 1.4 (154%)   | 1.4     | (151%) |  |
| マアジ                       | 1.5   | 0.7 (220%)   | 3.6     | (41%)  |  |
| メジナ(つかや)                  | 1.3   | 1.3 (100%)   | 1.0     | (129%) |  |
| その他                       | 14.6  | 11.0 (132%)  | 24.0    | (61%)  |  |
| 合計                        | 184.1 | 176.6 (104%) | 264.2   | (70%)  |  |

## 【2019年の注意が必要なできごと】

京都府でも種類不明フグ（雑種フグ）が獲れています

- ・トラフグとマフグの雑種と考えられる種類不明フグの例（6月20日 舞鶴市場）



しりびれが黄色



背中と腹は滑らか

このような雑種フグは毒のある部位の特定ができず、流通の過程で発見され次第、廃棄されています。山口県など南側の県では以前から知られていましたが、最近では北部の府県でも様々な種類のフグで雑種が増えてきており、温暖化によって分布域が変わってきているためだと考えられています。今後、京都府でも雑種フグが見つかることが増える恐れがあり、注意が必要です。

### ○参考

- ・トラフグ



しりびれは白色



背中と腹はトゲでザラザラ

- ・マフグ



しりびれは黄色

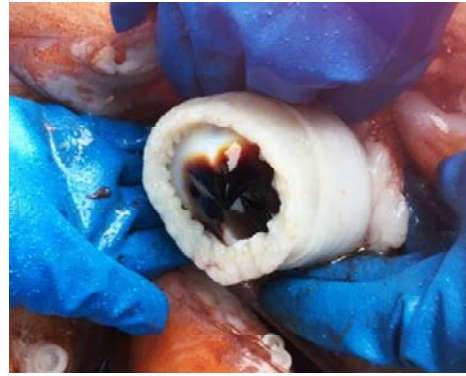


背中と腹は滑らか

## 【2019年の巨大生物】

### ダイオウイカ

12月17日 蒲入水産より 約4m



皮もよく残っており良い状態で届きました

大人の握りこぶし程もある巨大な口

各部位の長さを海洋センターで測定し、国立科学博物館のイカの研究者へデータを提供しました。その後、この個体は魚っ知館で12月20日～22日まで展示されていました。

## 【2019年に皆様から提供していただいた珍しい魚】

| コロダイ  | ニセカンランハギ  |
|---|---|
| <p>6月18日 栗田生産小田事業所より 約60cm<br/>イサキやコショウダイの仲間<br/>京都府では幼魚が定置へ入ることはありますが、このような成魚が獲れることは珍しいです。<br/>大型魚は美味。</p>  | <p>6月20日 舞鶴市場より 約35cm<br/>ナンヨウハギの仲間(フグの仲間ではありません)<br/>沖縄など南方にいる魚で、水族館でもよく展示されています。<br/>この仲間はシガテラ毒を持つ場合がありますため注意が必要です。</p>  |
| イソアイナメ  | ハクセイハギ  |
| <p>10月25日 栗田漁業者より 約20cm<br/>イトヒキダラ(すり身の原料)の仲間<br/>この仲間そのものが日本海では珍しいです。</p>                                   | <p>12月2日 舞鶴市場より 約20cm<br/>カワハギの仲間<br/>沖縄など南方にいる魚</p>    |

これらの魚は京都大学舞鶴実験所で貴重な標本として大切に保管されています。近頃、これまで見かけなかった南方の魚が獲れる事例が増加しており、2020年に入ってから珍しい魚が届いています。見慣れない海の生き物を発見された場合には、当所までご一報いただくと幸いです。